

市町村健康増進計画等の推進に係る取組について

市町村名	都城市
事業名	がん検診事業～がん検診キャンペーン
対象者	(複数回答可、「その他」については、内容をお答えください。)
1	住民全体
2	出生～児童・青年の世代
3	働く世代
4	高齢期
5	その他
	その他の内容
事業概要	<p>がん検診は、胃・大腸・子宮・乳・肺の5種類のがん検診を国が示す指針に従い実施している。さらにリスク検査としてピロリ菌検査とHPV検査を実施している。受診方法は集団検診と個別検診である。協会けんぽの被扶養者健診や複数のがん検診、特定健診との合同検(健)診、夜間検診、商業施設でのがん検診実施など、受診しやすい環境の整備に努めている。また、予約方法では、受診者の利便性を考慮し、電話・窓口の他、24時間受付ができるインターネット予約も設けている。</p> <p>がん検診の啓発として、がん検診の情報を掲載した検診ガイドの各戸配布、ラジオ出演、懸垂幕や幟旗の設置等を行っている。また、がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間である10月に商業施設でがん検診キャンペーンを実施した。キャンペーンでは、がん検診(肺・大腸・乳・子宮)、パネル・乳がん触診モデル展示、啓発グッズ配布を実施した。新型コロナウイルス感染症が流行している中での実施であったため、流行前より規模を縮小し、感染対策を講じながら実施した。</p>

参加者数	受診者数:464人(重複あり) 啓発グッズ配布者数:298人
------	--------------------------------

事業予算	がん検診事業:91,008千円
------	-----------------

事業効果等

受診者以外の方も来場され、パネルや乳がん触診モデルに関心を持ってくださる方が数名いた。また、受診する予定でなかった方も、啓発を行った結果、予約なしで無料で受けることができる肺がん検診を受けてくださる方もいた。健康に対して、無関心の方々にもがん検診の啓発ができることで、早期発見・早期治療につなげることができ、医療費の削減にも期待できる。

課題等

受付場所から検診バスまでの距離が長いことや、商業施設で車の出入りも多いため、事故が起きないように配慮する必要がある。

写真・グラフ等

